



soukensya  
TEL:0246-68-6111 FAX:0246-80-2103  
http://www.soukensya.co.jp  
E-mail:info@soukensya.co.jp



雑貨 & クッキー & 喫茶  
**ランタン**  
Lanthanum  
〒970-8026  
いわき市平2丁目21 1F  
0246-24-2121  
090-6626-4893  
OPEN  
14:00~20:00  
CLOSE  
MON・TUE

レンガ通りから平和通りへ移転オープンした「ランタン」さんへ。店内は、50年続いた喫茶店ウィンザーの雰囲気を残しつつ、オーナー永山暁子さんのセンスによってレトロ&クラシックでありながらポップでキラキラした女の子が大好きな空間に。さすがです♡私が作った世界で一番美味しいフロランタンをみんなにも食べてもらいたい！と通販を始め、何気に始めたアイシングクッキーが人気。お手頃なお値段の雑貨、アクセサリーは、可愛いもの大好き！なオーナー自ら買い付けに行き、ハンドメイドの作家さんの作品も並ぶ。何か素敵なものがありそう！とワクワク、ドキドキさせてくる。喫茶スペースもあり、オススメのホットサンドとクリームソーダをいただく。ホットサンドは丁寧にひとつずつ焼き上げられ、3種類のチーズがおいしく溶けて間違いない美味い！ブルーハワイクリームソーダは見た目の可愛さにテンション上がります！定番のメロンはもちろんレモンやいちご味もあります。店内同様、楽しく可愛らしい永山さんのおしゃべりについつい長居。まあ、いつものことですが…。自分へのご褒美、大切な人へのプレゼントに…素敵な何か必ず見つかるよ！

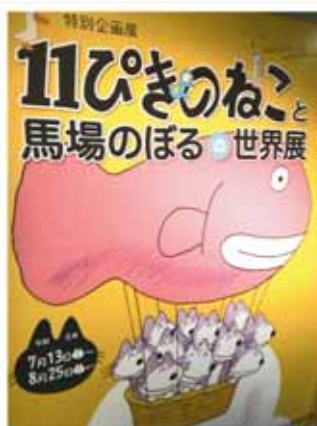
アイシングクッキーはフルオーダーも承っております。誕生日などのお祝いや大切な記念日に世界にひとつだけのオリジナルアイシングクッキーを製作します。おまかせでもお作りできますのでお気軽にご相談ください。



A. 食べやすい一口サイズのフロランタン。フロランタンとは、クッキー生地をスライスしたアーモンドなどのナッツ類をキャラメルでコーティングしたものをのせて焼き上げたお菓子。プレーン、チョコ、オレンジ&チョコ味があります。B. クリームソーダは猫の絵のグラスで。これでもか!?と可愛いが忙しい！プリンもオススメらしく、次回いただく予定。C. ハムとチーズのホットサンド。あー本当にまた食べたくなる美味しさです。種類も豊富です！D. アクセサリーもたくさん並んでいて、カワイイ〜という言葉しか出てこない。E. オーナーのチョイスがさすが！お手頃なお値段の雑貨はカワイイだけでなく、私みたいなおばさんでもイケそうなものも。

I'm Home

I'm Homeは創建舎が編集発行するフリーペーパーです。私たち創建舎は家づくりを通して、日々の暮らしが豊かで笑顔の多い生活であることを願います。そして、職人に優しい家づくりをこれからも目指します。



『STAFFだより』

大好きな「11ぴきのねこ」を見に郡山へ。浜通りに住む者として、真夏に中通りは厳しい！とは思いつつ、ごおりやま文学の森にある郡山市文学資料館に行ってきました！何度も言うようですが、大好きなんです絵本「11ぴきのねこ」が。馬場のぼるさんの描く絵は、ほのぼのとした雰囲気なんです。このシリーズのねこちゃんたちは正直あんまりいいやつではないんです。ずるいし、嘘はつくし…。でも、なーんか憎めない。人間味溢れるってやつですかね。ねこですが、笑。最後にたんまりとグッズを購入し、敷地内の久米正雄記念館へ。なんと観覧料が大人200円と衝撃の安さなのにこちらにも入館出来ると！こちらがまた素敵で、昔の家って手作りの良さが溢れて、窓やドアのデザインに感動！庭園の遊歩道を散策した際、木陰を抜ける風が涼しく感じた。秋!?



〒971-8146  
いわき市鹿島町御代字九反田51-1  
**株式会社創建舎**  
TEL 0246-68-6111  
FAX 0246-80-2103  
HP <http://www.soukensya.co.jp>  
E-mail: info@soukensya.co.jp  
Facebook ID: iwaki.soukensya  
Instagram: soukensya  
建設業/福島県知事(般-26)第31516号  
宅地建物取引業・福島県知事(4)第2277号  
一般建築士事務所/福島県知事18(705)0372号

『編集後記』

レンガ通りにお店があった頃からI'm Homeを置かせていただいていたのに、なかなか取材出来ずにいた『ランタン』さんへ。取材前のご挨拶だけでも…と緊張気味でお邪魔した際も、初対面にもかかわらず楽しくお喋りさせていただき、オーナーのあきちゃんに感謝です！元美容師だったり、お菓子も作れてセンスも抜群！で、私よりずっと年下なのにしっかりしていて、なんだか頼れるお姉さんのような、可愛い妹のような…とにかくあきちゃんの魅力が人を惹きつけるのか次から次へとお客様が来店されてました。楽しい空間と美味しいメニューもまた行きたい！と思わせる。いつか大好きなアイドルのアイシングクッキー頼みたい。どの写真にしよう。あーあのアルバムジャケットにしよっかな…と、今から楽しみ！その時はヨロシクね〜♪



【お月見・中秋の名月について】

十五夜は「中秋の名月」とも呼ばれ、「秋の真ん中に出る月」という意味があります。では「秋の真ん中」とは？かつて使われていた旧暦では、1月~3月が春、4月~6月が夏、7月~9月が秋、10月~12月が冬となっている。なので、秋の真ん中は8月になりますね。さらに8月の真ん中、15日ごろが「中秋の名月」です。現在の新暦は旧暦と1~2か月のずれがあるため、「9月7日から10月8日の間で、満月が出る日」を十五夜としています。ちなみに、今年2019年の十五夜は9月13日(金)です。



平安時代、十五夜の月見が貴族の間で盛んになった。月を見ながら酒を酌み交わし、船の上で詩歌や管弦に親しむ風流な催しだったそうです。貴族たちは空を見上げて月を眺めるのではなく、水面や盃の酒に映った月を愛でたそうです。直接ではなく映った月を…いや〜昔の貴族のやること、洒落てます！庶民も広く十五夜を楽しむようになったのは、江戸時代に入ってからだといわれて、貴族のようにただ月を眺めるのではなく、収穫祭や初穂祭の意味合いが大きかったようです。十五夜のころは稲が育ち、間もなく収穫が始まる時期。無事に収穫できる喜びを分かち合い、感謝する日でもあったようです。



お月見にはお供えをするのが決まりで、それぞれに意味があります。一部をご紹介します。  
ススキ……ススキは秋の七草の1つ。白い尾花が稲穂に似ていて、魔除けになるという理由で供えるようになりました。今ではお店で買えるように。  
月見団子…丸い団子を月に見立て、感謝の気持ちを表わすそうです。地方によっていろいろな種類がある。お供え物の里芋の形に似せたためとも言われる。  
農作物……豊作に感謝するために里芋、栗、枝豆など収穫されたばかりの農作物を供えます。「芋名月」とも呼ばれ里芋を供えるのが一般的ようです。また、「お月見泥棒」という言葉があります。「月見のときだけはお供え物などを勝手に取ってもよい」というもの。実際によその家でやったらアウトですけどね！

\*いわき市錦町下り立 建築条件つき

おすすめ土地情報!!

●地目 / 宅地 ●用途地域 / 第1種住居 ●区画整理地内 (仮換地指定済)

●建ぺい率 / 60% ●容積率 / 200% ●引渡 / 即

詳しくは 株式会社創建舎 まで。

レンタルギャラリー デュロム Rental Gallery 『Dröm』 ¥1,000で貸し出し中～!

創建舎事務所にあるレンタルスペース『Dröm』デュロムは、スウェーデン語で“夢”を意味する言葉。夢のある生き方のお手伝いを…。そんな思いから地域貢献の場としてギャラリーをお貸ししております。ワークショップやカルチャースクール等に是非ご利用下さい。ご利用の内容によってはお断りする場合もございます。ご興味のある方は、一度見学にお越しください。商品の販売を伴う会員勧誘などのセミナーはご利用できません。まずは、お気軽にお電話ください。ご利用お待ちしております。 ¥1,000/1部屋1日(平日のみ)



南側のお部屋は明るい雰囲気。ワークショップなどに。



落ち着いた雰囲気。北側のお部屋はピクチャーレールがあるので作品の展示などに。→

### 「I'm home」のバックナンバーについて

今回の「I'm home」vol.45をたまたま手にした方も、いつも読んでくださっている方も、バックナンバーが見たいな…と思ったら創建舎のHPに見に来てくださ～い! パソコンからはもちろん、スマホからも見ることが出来ますので、是非どうぞ! 右の写真はスマホの画面の写真です。こんな風に出ますので、気になったものを開いてみてね。vol.13から最新号までありますよ～!

### I'm Home communication



### 集まって暮らすまちと建物のルール…つづき

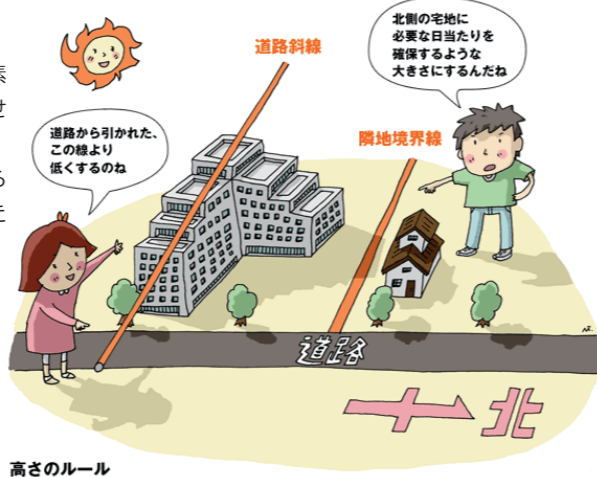
野澤 千絵 東京大学 監修

#### 建物の大きさ

建物の大きさををはかるために、いろいろなものさしが使われています。たとえば「建(けん)ぺい率」は、敷地の中で、建物が建っている部分が敷地のどのくらいの部分を占めるかを表すものです。つまり、建ぺい率が50%ということは、敷地の半分に建物が建っていることを示します。都市部では地域ごとにその上限が決まられていて、建物を建てる場合に敷地にどれくらい余裕(隙間)を残さなければいけないかを示しているのです。また、周辺の道路やお隣の建物の日当たりや風通しに大きな影響を与えないように、建物の各部分の高さを決める「斜線制限」や建物の一番高い部分の高さを決める「高さ制限」など、建物の「高さ」を決めるルールもあります。更に、どれくらいのボリュームまで建物を建ててよいか(これを「容積率」といいます)を決めるルールもあります。こうしたルールは、その地域に適した環境を保ったり、道路や上下水道などの公共の施設とのバランスを保つために決められています。建ぺい率の制限により敷地に余裕をつくることで、各家の風通しや日差し、お互いのプライバシーを確保するといったことに役立ちます。また、高さのルールは、一般的に各家に一定の時間、日差しが入るようにしたり、建物による圧迫感を少なくしたりする効果があります。たとえば、低い家を建てる地域と決められたところでは、建ぺい率、容積率、高さ制限が厳しく決められているので、商業地域などよりは、空が広く、比較的緑が多いまち並が保たれるのです。

#### 建物の見た目

みなさんは、どんなまちを見て美しいと感じますか。感じがいいなど思ったり素敵だなと思うまちは、単に建物のかたちや大きさがそろっているだけではありません。建物ひとつひとつが単体で美しいだけでは、建物の集合体である「まち並」は美しくはなりません。反対に美しくない思う原因はいくつかあります。遠くからでも目立つ派手な看板があるとか、大きさが周囲の建物と格段に違うものがあったり、道路に電信柱がたくさん立っていて電線が縦横無尽に走っていたり、ゴミが散らかっていたら、とても美しいとは感じられません。まちの見た目に関するルールは、その地域ごとにルールが違ってきます。たとえば、古い時代のまち並みを保ちたい場合には、外壁の仕上げや屋根の色を決めて、新しい建物でも古い建物になじむようにします。また、緑の多い住宅地にするため、道路と敷地の境は生け垣にしようというルールをつくることもあります。美しいまちをつくるためにはその場所、目的にあったルールをそれぞれにつくるのが大切なのです。



高さのルール

木造建築の世界でも、柱や梁、建具などさまざまな部材が工業化され、以前のように一本の木材から大工さんが一つひとつ切り出してつくる手仕事が減っています。将来に残したい手仕事に使われてきた大工道具シリーズ第4弾『鑿』のみをご紹介します。

#### 4 材に穴をあけたり細かい部分を削り取るための工具

わが国では鋸ノコギリ・鉋カンナとならんで加工にはなくてはならない道具です。鉄製の刃物の部分と、手につかむための木材の柄の部分からなっていて、刃物の部分は穴があけやすいように形を絞り込んで細長い首をつくります。刃先は鉋と同じように木を削るための鋼に地金を鍛接(たんせつ)するつくりになっていて、柔らかい地金で甲表や首、柄に差し込むコミ部分をかたちづくります。

#### 本叩き (ほんたたき)

穂先の厚みは厚く、穂先・首の長さは長く全体に頑丈に作られている。首の長さは2寸～2寸5分である。構造材にいろいろな穴を掘るなど、荒仕事に使用する。刃幅は1分～1寸が普通。



#### 広鑿 (ひろのみ)

本叩きと同種で、刃幅が1寸2分以上のものをいう。穂先の厚みはやや薄い(中薄型)。構造材の繊維に平行な面を削る時などに使用する。刃幅は1寸2分～2寸が普通。



#### 中薄鑿 (ちゅううすのみ)

本叩きと同種で、穂先の厚みがやや薄いものをいう。使用法は本叩きと同じである。刃幅は1分～2寸が普通。(1寸2分以上は広鑿)



#### 二本向う区鑿 (にほんむこうまちのみ)

向う区鑿で穂先が二股に分かれているものをいう。刃幅はほぼ一定で刃と刃の間が1.5分、2分、2.5分のものがある。建具の二枚ほその穴を同時に間隔を正しく掘ることができる。刃幅2分が普通。



最終回は『栗』クリについて。クリは日本固有の木で、天然では北海道の南から九州まで分布している。ブナ科クリ属の落葉高木。木材としては硬くて強度が大きく弾力があるが、狂いは比較的少ない。やや割れやすいが、腐りにくく水湿に非常に強いので、土台や水回りに適している。特殊な使い方としては、数寄屋建築に使われる名栗がある。六角形の各面をはつって凹凸をつけたもの。

縄文時代の遺跡調査からも、古くから食料としても親しまれてきたことが分かっている。実は栄養分も豊富だ。長野県小布施町、岐阜県中津川市などは栗菓子を生産することで名高い。クリの木の産地としては茨城・熊本・愛媛などで生産量が多い。

クリは防腐処理も不要で、シロアリにも食われないため、枕木や土台に古くから使われてきた。「枕木はレールと同様、最重要品」と考えられ、明治初めに鉄道が走り始めた当初は検査による合格品のみを納入していた。当時は腐食に強いクリのほか、ヒノキ・ヒバ材で生産された。現在ではコンクリートの枕木が増え、木の枕木の絶対量は減っている。木製枕木の耐久年数は20～30年程度。コンクリートの枕木が増えても、鉄橋やポイント(分岐)の箇所には今でも気が使われることが多い。鉄橋には、軽い材料＝「木」の方が望ましいし、振動や騒音を吸収するメリットもあって木を必要とする部分があるからだ。

台風の被害で床上浸水を受けた家でも、木が膨れていたが、クリは大半が大丈夫だった。また重い木・硬い木の中では暖かさを感じるのが特徴。ある展示会でナラとクリを展示したとき、さわってみた人の100%がクリの方があたたかいと感じたそうです。

とうとうシリーズ最後。記事を書くにあたり大変勉強になりました。甘栗で自分を労おうかしら。



※記事参照 日本の原点シリーズ 木の文化5 樺・檜・栗 新建新聞社 出版部